



丸子中央小だより 夢は羽ばたく

令和7年度 第12号
令和8年2月6日
上田市立丸子中央小学校

飲酒・喫煙・薬物乱用防止教室(6年)



30日（金）に6年生を対象に「飲酒・喫煙・薬物乱用防止教室」を実施しました。講師に、中村英俊先生（中村薬局）、関徹也先生（関薬局）、小林啓太先生（コバヤシ薬局）をお招きし、学級ごとにお話しをしていただきました。

飲酒や喫煙、薬物乱用が心や体に及ぼす影響について具体的な資料や事例を用いながら、分かりやすく説明をしていただきました。6年生は、これまでの保健の学習内容を振り返りながら話を聞き、「お酒やタバコがどのように体に害になっていくのかが分かった」「薬物は怖いものなので、そもそも使用なんてしない」という感想

があり、アルコールやタバコ、薬物の怖さを理解できたようでした。身近な場面を想定したお話では、「誘われたらどうするか」「どのように断るか」といった点についても考え、具体的な行動につなげることの大切さを学ぶ良い機会となりました。ぜひ、お子さんと飲酒・喫煙・薬物乱用の防止についてお話しをしてほしいと思います。

コミュニティスクール運営委員会



令和8年1月30日（金）13:50～16:30

- 1 授業参観 13:50～14:35
- 2 コミュニティスクール運営委員会
14:45～16:30

- ①学校長挨拶
- ②CS運営委員長挨拶
- ③学校の様子（6年代表児童、教頭）
- ④学校ボランティアの活動について（委員長）
- ⑤学校自己評価について（教頭）
- ⑥意見交換

会議では学校から1年間の本校の教育活動や取組を報告しました。6年生の児童代表は、より良い学校を目指して取り組んできた「異学年の交流活動」や「ほめほめ放送」について発表しました。当日の授業も含めて、児童の意欲的な取組についてお褒めの言葉をいただきました。さらに、CSコーディネーターからは、本年度の「まるっこ応援隊」（学校支援ボランティア）の活動についてお話ししていただきました。改めて、地域の皆様の温かく力強いご支援が、本校や子どもたちの学び、成長を支えてくださっていることを実感できました。今後も、いただいた貴重なご意見やご要望を生かし、「地域とともにある学校づくり」を一層進めてまいります。委員の皆様には厚く御礼申し上げます。

新児童会発足に向けて(立会演説会・投票)



2日（金）に立会演説会・児童会選挙が行われました。教室訪問を経て、各クラスの立候補者と推薦責任者が体育館に集まり、最後の演説を行いました。

演説を行った4名は、家庭や教室で何度も練習を重ね、本番に臨みました。大勢の前で話すことは大変緊張したことと思いますが、堂々と自分の考えを伝える姿からは、来年度の児童会を担う存在としての頼もしさと成長を感じられました。

この選挙を通して、学校のために考え、行動しようとする気持ちが全校に広がったことも大きな成果です。児童会長・副会長が決定した後は引き継ぎを行い、新児童会としての企画や運営がいよいよ始まります。丸子中央小学校がより良い学校となるよう、今後の活躍を期待しています。

《令和8年度に向けて No.1》

通知表の配付方法変更について

本年度まで、学習や生活の様子を記録した通知表を、各学期末（年3回）、お渡ししていましたが、**令和8年度より、年2回の配付**に変更することとしました。配付時期を、1回目は10月上旬、2回目は3学期終業式とさせていただきます。変更理由につきましては、以下のとおりになります。なお、本内容につきましては、学校運営委員の皆様にもご賛同をいただいておりますことを申し添えます。

- 1 個別懇談会の機会を年2回、設けていることです。懇談会では、通知表の結果だけでなく、日頃の学習や学校生活の様子、今後の課題や成長の方向性について、担任と保護者の皆様が直接お話しする機会を大切にしています。そのため、学期ごとの評価を細かく分けるよりも、一定期間の学習や成長の様子を総合的に振り返り、より充実した話し合いにつなげたいと考えております。
- 2 三学期は他の学期と比べて登校日数（40日余り）がとても少なく、学習内容が限られるため、評価が偏りやすいことです。短い期間の学習のみで評価を行うよりも、1年間を「前期」と「後期」というまとまりの中で、児童一人一人の努力や成長をより適切に評価することができると判断いたしました。

上小地区（上田市、東御市、長和町、青木村）のほとんどの小学校が、通知表を年2回の配付としていることも申し添えます。

本校といたしましても、今後も児童生徒の学習の成果や成長の過程を丁寧に見取り、分かりやすくお伝えしていくことを大切にしてまいります。

※このように「学校だより」を通して、来年度の変更点について、お知らせしていきたいと思います。
よろしくお願ひします。